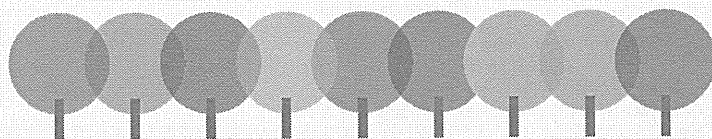


名古屋大学の知を高校生に



2011年度

豊かな人間形成のための

学びの杜・学術コース

▶生命科学探究講座

▶地球市民学探究講座

▶文学探究講座

▶人間発達科学探究講座

▶視覚文化探究講座

▶電子工学探究講座

▶コンピュータ活用探究講座

【対象：高校生／受講無料】

[学問の世界を知り、創造的な学びの力を育む]

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の学問研究の最前線で活躍する研究者たちが、高校生のみなさんを対象に、それぞれの学問領域における知の探究の成果や方法、スタイルなどについて、わかりやすく解説し、知の探究の楽しみと厳しさを体験してもらうという目的で開設された本格的な「学術的な探究講座」です。

大学レベルの高度な「学び」を体験することにより、高校生の皆さんが、各自の適性について、また興味や関心について育み、将来のビジョンを広げたり、キャリア・デザインの形成へと発展できるように企画されています。是非、参加してください。

学びの杜・学術コースの特色

1. 大学における専門的な学びを体験することにより、自分の適性や興味・関心について考えるきっかけを得ることができます。
2. 問題発見と解決型の学習を通して、大学での学びの基礎となる多様な科学的思考力やリテラシーを育むことができます。
3. 最前線で活躍する研究者や同じ目標をもつ仲間との学び合いを通して、幅広い学びのネットワークをつくることができます。
4. 将来に向けて自分のキャリアを自覚的に選択する第一歩を踏み出すことができます。

主催：名古屋大学大学院教育発達科学研究科中等教育研究センター（CSES） <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/manabinomori.html>

電子工学探究講座

なぜ、日本人は英語の聞き取りで苦勞するのか？この講座では英語を聞き取りやすくする電子工学的工夫について分かりやすく紹介します。試作器はおみやげに差し上げますので、英語力アップに活用してください。

定員：25名

申し込み締め切り：7月22日(金)

担当部局：工学研究科

	日時	担当者	テーマ	概要
1	8月2日(火) 10:00→12:00	古橋武	不思議と英語が聞こえてくる！	英語の聞き取りで苦勞していませんか？英語を聞くことに神経を集中しても、5分もたないことはありませんか？どうすれば聞き取れるのか？本講座では、英語を聞き取りやすくする電子回路「英語補聴器」の分かりやすい紹介をします。講師自身が「耳からうろこが落ちた」体験を語り、皆さんには「英語補聴器」を試作してその効果を実体験してもらいます。

コンピュータ活用探究講座

数学・物理の理解に苦しんでいませんか？この講座では、コンピュータの活用によりイメージで高校数学・物理を理解しやすくしているWebページを訪ね、その活用法について探ります。

定員：25名

申し込み締め切り：7月22日(金)

担当部局：工学研究科

※受講資格：物理1と数IIBを履修中もしくは履修済みであること

	日時	担当者	テーマ	概要
1	8月2日(火) 13:00→14:00	古橋武	数学・物理がみえてくる！	数学・物理の理解に苦しんでいませんか？最近Web上に、コンピュータを活用してイメージで高校数学・物理を理解しやすくする工夫を紹介するページが増えつつあります。試験勉強をしながらどうしても分からないとき、このようなページを知っているとき大きな助けになります。この講座では講師自身の工夫を紹介するとともに、これらWebページの活用法を受講生と一緒に探ります。

地球市民学探究講座

地球規模のさまざまな問題—貧困、民族紛争、多文化共生など—を取りあげながら、異文化理解の方法や地球市民としてのあり方について考えます。

定員：40名 場所：附属高校第一総合教室

申し込み締め切り：6月14日(火)

担当部局：国際開発研究科・教育発達科学研究科・情報科学研究科・留学生センター・高等教育研究センター

	日時	担当者	テーマ	概要
1	6月25日(土) 10:00→12:00	齋藤洋典	グローバル化と他者理解	人の身になって考えるとはどういうことか。同じ文化及び異なる文化の背景をもつ人々が互いに理解しあうことの意味とその方法を一緒に考えます。
2	7月2日(土) 13:00→15:00	米澤彰純	グローバル化のなかの大学	現在、新興国を中心に世界中で大学生・留学生の数が増え続け、日本の大学も、グローバル人材育成が求められています。変化する世界の大学がどこに向かおうとしているのかを考えます。
3	7月23日(土) 10:00→12:00	サガヤラージ・A (南山大学)	多様性における一致への働きかけ： インドの場合(1)	インドにおいて多文化・多民族・多宗教が共存(共生)するあり方を事例として紹介していきます。そこから、自文化を保持しつつ、多様性を認めるグローバルなあり方を考えていきます。
4	7月23日(土) 13:00→15:00	サガヤラージ・A (南山大学)	多様性における一致への働きかけ： インドの場合(2)	Self Help Groupという地域住民による自主的・民営的な活動例を通して、自文化を保持しつつ、民族・宗教・カーストの垣根を越え、多様性を認め合っ生きて、グローバルな共存(共生)のあり方を考えていきます。
5	7月29日(金) 10:00→12:00	岩城奈巳	日本人の英語教育に対する 学習不安	日本人は外国語、特に英語を学ぶにあたり、いろいろな不安を感じます。自分の発音がおかしいのではないかと、間違えることによって人に笑われるのではないかなど、多くの不安に直面します。こうした英語学習の不安について、一緒に検討します。
6	7月29日(金) 13:00→15:00	服部美奈	東南アジアと国際教育協力	東南アジア地域における国際教育協力のあり方の概観と、地球規模の問題に取り組み団体を取り上げながら、国際教育のあり方について考えます。
7	7月30日(土) 13:00→15:00	佐藤良子 (愛知淑徳大学)	国民的ステレオタイプ	ステレオタイプとは何か？なぜ人々は他の国民の人たちに対してステレオタイプを持つのか？こうしたステレオタイプには偏見性があるのか？このような質問に答えていきます。
8	8月1日(月) 10:00→12:00	近田政博	世界の学校文化 —その多様性が示唆するもの	学校の文化やルールは国や地域によって大きく異なります。なぜそのような違いが生まれるのでしょうか。学校文化の違いは生徒の成長にどのような影響を与えるのでしょうか。さまざまな国の事例について意見交換することを通して、日本の学校文化を相対的に見るができるようになるでしょう。
9	8月8日(月) 10:00→12:00	野田真里 (中部大学)	世界の貧困	3秒に1人なくなる子ども—他人事ではない世界の貧困。グローバル化の進展とともに拡大する経済社会格差と深刻化する貧困問題について、私たちの生活との関連において、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。
10	8月8日(月) 13:00→15:00	野田真里 (中部大学)	国際協力と地球市民	貧困なき地球社会のために—他人事ではない日本の、そして世界の貧困問題の解決のために、何をなすべきなのか、そして私たち市民は何ができるのかについて、参加型ワークショップの手法を用いて考えます。

文学探究講座

アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパで貴重な文献や資料を掘り起こし、広い視野から人間とその歴史、社会を考えている文学部の研究者による新鮮で、興味深い学問世界を紹介します。

定員：50名

申し込み締め切り：7月15日(金)

担当部局：文学研究科

※全回出席を前提としていますが、1日のみの受講も受け付けます。全回終了した受講生には「修了証」を授与します。

	日時	担当者	テーマ	概要
1	7月28日(木) 10:30→12:00	池内敏	江戸時代の漂流民送還制度	かつて江戸時代の日本は国際的に閉じていた(いわゆる「鎖国」)と考えられていたのに対し、近年では様々な国際交流があったことが知られてきました。17～19世紀東アジア世界をおもった漂流民送還制度を素材にして、江戸時代の日本人と異国人との相互交流についてお話したいと思います。
2	7月28日(木) 13:00→14:30	周藤芳幸	ナイルのほとりて ギリシア文化に出会う	紀元前の最後の300年間、エジプトにはマケドニア系の王朝による支配のもとで、在地の伝統文化と外来のギリシア文化が複雑に混淆する世界が展開していました。この講義では、この世界に生きた人々の暮らしを復元するためにやっている現地調査の様子を紹介しながら、フィールド人文学の魅力についてお話したいと思います。
3	7月28日(木) 14:45→16:15	佐々木重洋	約の森へ—アフリカ熱帯雨林で 仮面文化をフィールドワークする—	人文学の中には、私たちと同時代に生きている人間とその社会を対象とし、そこで生活をともにしながら、参与観察や聞き取り調査をつうじて資料を突如に集め、解説することをとくに重視する分野もあります。この時間では、カメルーンの熱帯雨林の仮面文化の事例から、現在のアフリカ村落社会における政治、宗教、芸術について洞察していくとともに、皆さんを文化人類学のフィールドワークの世界にご招待します。
4	7月29日(金) 10:30→12:00	大石和欣	シリョウの狩人たち～記録と 記憶をたどる旅路への招待	歴史研究と同様に文学研究に際してもさまざまな資料・史料を探し出して、解説していく必要があります。その過程は多くの困難が付きまとう知的な冒険です。しかし、その果てには途方もない喜びが待っています。シェイクスピアやダニエル・デフォーなど著名なイギリスの作家にまつわる資料の物語を解きほぐしてみます。
5	7月29日(金) 13:00→14:30	畝部俊也	イギリスでタイの写本から インド仏教を探る!	人文学という学問の王道は「文献を読み解くこと」だと思いがちですが、文献といっても辞書を片手にただ机に向かっていけば読めてくる、というものではありません。オックスフォード大所蔵のタイの挿絵入り仏教写本にまつわる様々な問題と、それを解くため、どのように研究を進めているのかについて紹介します。

生命科学探究講座

第一部と第三部は、『生物多様性からみた生命』について、博物館で学びます。第二部は、『生命を支えるしくみ』について、生命農学研究科の先生方に講義をしていただきます。

定員：30名

申し込み締め切り：6月14日(火)

担当部局：名古屋大学博物館・生命農学研究科

第一部：生物多様性からみた生命Ⅰ【場所：名古屋大学博物館】

	日時	担当者	テーマ	概要
1	7月21日(木) 10:30→12:00	新美倫子	骨から学ぶ(1): 出土骨からみえるもの	遺跡に残っている骨から昔の人の生活を考える。出土した魚骨の分類も行う。
2	7月21日(木) 13:00→15:00	蛭薙観順	骨から学ぶ(2): トリの骨からみえるもの	骨格標本を手にとりて観る、感じる、考える。
3	7月27日(水) 10:30→12:00	西田佐知子	植物から学ぶ生命の多様性	植物は地球上に約28万種いると言われている。なぜこんなに多様なのか? 実際の植物を観察しながら、生物の多様性について講義する。
4	7月27日(水) 13:00→15:00	大路樹生	化石から探る生物の多様性	化石を観察し、そこから過去の地球や生命の歴史についてどのような事が分かるのかを解説する。

第二部：生命を支えるしくみ【場所：附属高校第一総合教室】

	日時	担当者	テーマ	概要
5	8月1日(月) 13:00→15:00	海老原史樹文	心は遺伝するか?	動物では不安や恐怖などの心の状態を行動で判断することができる。講義では、マウスの行動と遺伝子との関係について学び、ヒトの心理と遺伝との関係について考える。
6	8月8日(月) 13:00→15:00	小田裕昭	食べ物はどうやって栄養になるか	食べたものが身体に取りこまれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってどのような役割を果たすかについて学ぶ。
7	8月9日(火) 13:00→15:00	上野山賀久	生殖を科学する	動物の生殖機能は脳で制御されている。脳とホルモンのはたらきを中心に、生殖機能をコントロールするメカニズムについて解説する。
8	8月10日(水) 13:00→15:00	大場裕一	光る生物の科学	様々な光る生物を紹介し、その発光のメカニズムと最先端研究への応用について解説する。

第三部：生物多様性からみた生命Ⅱ【場所：名古屋大学博物館】

	日時	担当者	テーマ	概要
9	12月20日(火) 10:00→12:00	東田和弘	生物多様性(Biodiversity) —多様性って何だろう	生物多様性を例に、「多様性」の意味を考える。多様性は守るべきか否かについて、学生に自分で考えてもらう。
10	12月20日(火) 13:00→15:00	門脇誠二	石器から見る人類の多様性と進化	過去に存在した多様な人類が残した石器文化について解説し、私たち現生人類の能力や行動の特徴について考える。

視覚文化探究講座—「視覚力」をつける—

私たちは視覚の時代に生きています。アニメ、ゲーム、TV、インターネット、等等、多くの情報が、目に見える形で提供されます。この講座では、そのどこにも存在している写真を取り上げて、視覚の力について考えてみます。アートの最先端の表現における写真を紹介し、また参加者が実際に実験的な写真を撮ることを試みるなかで、見る力、「視覚力」を身につけましょう。

※受講生は、デジタルカメラやケータイ電話など撮影のできる器械を持参してください。

定員：25名
申し込み締め切り：7月22日(金)
担当部局：情報科学研究科・ 名古屋大学ヴィジュアルスタディーズネットワーク

日 時	担当者	テーマ	概要
1 8月1日(月) 10:00→12:00 13:00→15:00	茂登山清文	ポートレイトを見る／撮る	アートの写真の最先端を見まよう。そして、みんなでポートレイト写真を撮り、視覚の伝達力について考えます

人間発達科学探究講座

教育と人間発達について探究する5つのコース、『第1コース(生涯教育開発)：生涯にわたる学びと家族』『第2コース(学校教育情報)：学ぶ意味の探究』『第3コース(国際社会文化)：異文化との出会いと自己探究のドラマ』『第4コース(心理社会行動)：人間の心と行動を解き明かす』『第5コース(発達教育臨床)：人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ』を開講します。

定員：各コース15名
申し込み締め切り：7月8日(金)
担当部局：教育発達科学研究科
※各コース別に募集します。受講希望が多数の場合は、抽選となります。複数のコース選択可。 全コースを修了した受講生には「修了証」を授与します。

日 時	担当者	テーマ	概要
第1コース[生涯教育開発]			
1 7月21日(木) 10:30→12:00 13:00→14:30 14:45→16:00	松田武雄 吉川卓治	生涯にわたる学びと家族	今日、私たちは、家族や地域、学校のなかで育ち、学んでいます。卒業後も多くの学ぶ機会があります。このコースでは、学校外での生涯にわたる学びの場にはどのようなものがあり、人々はどのように学んでいるのかを理解し、第二に、子どもが生まれ、育まれる「家族」というものの成り立ちについてさまざまな面から考えていきます。
第2コース[学校教育情報]			
2 8月4日(木) 10:30→12:00 13:00→14:30 14:45→16:00	植田健男 南部初世 石井拓児	学ぶ意味の探究	みなさんは、「勉強がつらい、面白くない」とか「学校に行くのが楽しくない」と思ったことはありませんか。国際機関が行う調査では、諸外国に比べて日本の子どもたちの家庭での学習時間が短いことや、学習の「楽しさ」について肯定的に回答する子どもの割合が少ないことが示されています。なぜ私たちは学校へ行き、学ぶのでしょうか？ 学びを通して私たちはどのような人間になるうのでしょうか？ このコースでは人間発達の基本原理と学校・教師の役割について考えあひ、学ぶことの意味をみなさんとともに探求していきたいと思ひます。
第3コース[国際社会文化]			
3 8月1日(月) 10:30→12:00 13:00→14:30 14:45→16:00	西野筋男 内田良	異文化との出会いと自己探究のドラマ	現代社会は、国際化・グローバル化が多くの問題をもたらしながら加速的に進展していく社会です。このコースでは、まず異文化の人びとの出会いと語り合いを体験してもらい、次にその体験から自文化を再発見し、自己を表現しながら、(異文化間の)相互理解の重要性について考えていきます。
第4コース[心理社会行動]			
4 8月17日(水) 10:30→12:00 13:00→14:30 14:45→16:00	石井秀宗	人間の心と行動を解き明かす—心理的なものを測る—	テストや性格検査の得点は何を表しているのか考えたことはありますか？ それらの得点に疑問を感じたことはありませんか？ このコースでは、学力や性格など心理的なものを測るということについて、体験的な学習を通して、その意味を考えていきます。
第5コース[発達教育臨床]			
5 8月25日(木) 10:30→12:00 13:00→14:30 14:45→16:00	平石賢二	人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ	あなたは、自分自身の人とのつきあひ方の癖を知っていますか？ このコースでは、臨床心理学で用いられている技法を応用して、自己理解と他者理解の手助けとなるような体験学習を行います。それを通して、臨床心理学の基礎にふれたいことを目指します。

受講申し込みについて

申し込みは、① 受講希望講座名(人間発達科学探究講座についてはコース名を、文学探究講座については日にちを明記) ② 学校名 ③ 学年
④ 氏名(ふりがな) ⑤ 住所 ⑥ 電話番号 を明記し、下記のメールアドレス宛へお願いします。

※申し込みが多数の場合は、各講座の申し込み締め切り後、抽選をおこなうその結果を連絡します。※会場・場所については、受講許可の案内通知の中でお知らせします。
※申し込み方法は、中等教育研究センターのホームページにおいても掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/manabinomori.htm>

※申し込み確認や受講確定等の通知をメールで行いますので、こちらからのメールを受信出来るようにしておいてください。

申し込み・問い合わせ先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科中等教育研究センター
cses@educa.nagoya-u.ac.jp